



明るい社会づくりのために

有明町更生保護女性会など3団体が小中学校に雑巾を配布、明るい社会づくりを呼びかけました。

7月2日、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指して活動する有明町更生保護女性会など23人が、有明町の小中学校を訪問、雑巾を配布しました。

この学校訪問は「社会を明るくする運動」の強調月間である7月に例年行われており、30年以上継続されている活動です。



志布志の歴史・文化を後世に

文化財の保護活動などを行う志布志文化財愛護会の総会と、学習会が開催されました。

6月25日、志ふれあい交流館で開催された同会の総会と学習会では、鹿児島国際大学の西智和教授による「原田古墳を巡る志布志の古墳文化」についての講義が開催されました。参加者は「今まで知らなかった1,500年前の志布志の歴史を顧みることができてうれしかった」と話していました。

松山支所に七夕かざり

城南保育園の年長児が、とてもきれいな七夕飾りを松山支所に持ってきてくれました！

7月2日、城南保育園の園児11人が、きれいな七夕飾りを松山支所に飾ってくれました。同保育園の谷口おさんは「かっこいい一年生になれますように！」と思いを込めて飾ったそうです。

七夕飾りは毎年松山支所の玄関に飾られており、訪れる人の目を楽しめています。



子ども会活動に多大な貢献！

有明町の田中昭臣さんが鹿児島県子ども会育成連絡協議会から表彰されました。

永年の子ども会活動と青少年健全育成に多大な貢献をされていることが評価された田中さんは、35年以上にわたり西山之口子ども会指導者として、毎月第3土曜日の青少年育成の日に「親子読書会」を開催、家庭での読書習慣の確立や、各種青少年育成活動の推進にご尽力されています。

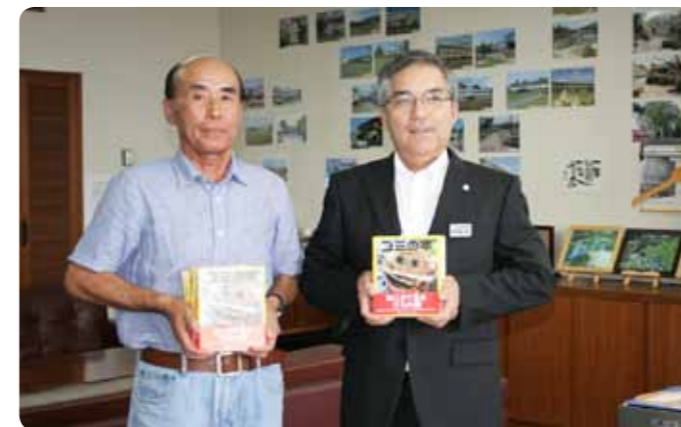


更生保護活動の拠点、オープン！

曾於更生保護サポートセンターが松山支所に設置され、その開所式が行われました。

7月2日、県内で6か所目となる更生保護サポートセンターが松山支所多目的集会施設3階に設置され、その開所式が開催されました。

同センターは犯罪や非行を防止し、罪を犯した人の立ち直りを支える活動の拠点となる施設で、企画調整保護司10名が、交代で駐在します。



ごみ問題をもっと身近に！

志布志町の窪健一さんが「ゴミの本もっと生きたかったよ」を30冊寄贈しました。

6月30日、志布志町にお住まいの窪健一さんが、自ら2004年に出版した本を教育委員会に30冊寄贈、市内の学校へ配布されました。

この本では窪さんが撮影した「ごみの表情」が生き生きと表現され、子どもたちには「ごみ問題」についての良い教材になるものと期待されます。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」！

中高生と各ボランティア団体など約430人が市内各地で薬物乱用防止を訴えました。

7月5日、地域の中学生、高校生を中心に各ボランティア団体など約430人が「ダメ。ゼッタイ。国際協力で薬物乱用をなくしましょう」を合言葉にキャンペーンを行いました。

同活動の参加者は、街頭で薬物乱用の弊害を訴え、また国際支援街頭募金活動を行いました。



海開き直前！砂浜をきれいに！

ダグリ岬公園海水浴場の清掃活動を、ジュニアリーダークラブ・インリーダークラブが行いました。

海開きを1週間後に控えた7月6日、ジュニアリーダークラブ・インリーダークラブが志布志市職員労働組合青年部及び志布志市青年団と合同でダグリ岬公園海水浴場の清掃活動を行いました。

参加した子どもたちは「暑かったけれど、海がきれいになってよかった」と感想を話しました。

